



かいかんだより

2022年度(第1号) 第264号



子ども家庭支援センター麦の穂の活動を紹介します!

子ども家庭支援センター麦の穂は、麦の穂学園(児童養護施設)と、乳幼児ホームかがやき(乳児院)と同じ敷地内にある地域に開かれたセンターです。子どもの養育への悩みや心配に寄り添った支援を行ないます。地域のニーズを把握し、法人施設と連携を取り地域支援、子育て家庭を支える環境づくりにつとめます。

支援センター麦の穂の取り組み

来館・訪問相談

- 来館による相談
- 家庭や関係機関への訪問
- 訪問による相談



居場所提供

- 地域の子育てサークル
- 乳幼児利用
- 各種研修、里親サロン会場

地域支援・交流

- 麦の穂子育てサロン
- 子育て情報提供
- * 法人全体で取り組む地域支援行事への参加

フォスタリング事業

令和2年度より、県からの委託事業である里親包括支援事業(フォスタリング事業)が始まり、市町村と連携を強化した取り組みもスタートしています。

✿フォスタリング事業ってなんだろう?✿

東濃圏域にある児童福祉施設と連携し、家庭に近い環境の中での養育をしてくださる里親家庭を応援していく事業です。

里親さんってなんだろう...里親になってみようかな...という相談窓口から育てていく中での悩みに寄り添い、自立していく時に必要なことなど一緒に考えていきます。

職員紹介



センター長 平井 公子	安心して話ができる、一緒に考えていけるセンターになれるよう、力を合わせていきます。
相談員 赤尾 佳永	かわらない“場所”“人”気軽に足を運べるところになりたいです。
心理士 横田 由香	たくさんのお母さんやお子さんに お会い出来るのを楽しみにしています!
心理士 水野 香代	週1回の勤務です。皆さんのお話をじっくり聴いていきたいです。
里親等委託調整員 山本 恵美	私たちができることは何か日々考えています。 いろんな思いをぜひ聞かせてください!
里親等相談支援員 田中 遥香	出会いを大切に、日々成長したいです。 楽しい企画をいっぱい考えますよ!

2022年度 麦の穂子育てサロンのご案内



支援センター麦の穂では、感染症に配慮しながら「麦の穂子育てサロン」を開催しています。

子育てをする中でのちょっとした疑問や不安など一緒に考えていきましょう。お気軽にご相談ください。

体重・身長測定もできますよ。坂本地区を対象とさせていただいていますが、何か子育てでお困りのことがありましたらご相談ください。



♪「むぎのほ」ホームページをご覧ください♪

各施設の取り組みや行事の紹介
写真などがご覧になれます。



<<http://www.muginoho-gifu.com>>

「みんなが言ってます」「みんなって誰ですか」「・・・」無言。こんな会話から「正しい情報で自己選択・自己決定・自己責任の生き方していますか」

「みんながあの先生は問題という」「みんなとは、だれが言うの」「・・・」無言となる「みんな、私のことを嫌いという」「みんなとは誰のこと」「・・・」言えない「みんながいじめる」「みんなとはだれがいじめるの」、「みんな買ってもらっている」「みんな持っている」このような言葉を使って自分のことを訴える大人や子どもがいます。

このように「みんなって誰のこと」と問いかけると名前が出てこない、「みんなって、みんな」と開き直られることがあります。

大人の場合では、みんながあの先生問題というが、その先生に会うと問題行動は全く見られない場合があります。そこで改めて、その「問題」と言う人とはその先生の生き方・考え方・行動のテンポが合わない場合があります。その「問題」と言った人のことを「鵜呑み」にして、確かめないで行動をするととんでもない間違いだということに出会うことが度々あります。

同じように、子どもの場合には、自分にとって都合のいいような「みんなも持っているから買ってもらうのが正しい」という状況にするために「みんな」という言葉を使うことがあります。この「みんな」という言葉に負ける家族にならないために必ず具体的に「みんなって誰なの」という問いかけをすることが大切になります。

家族でテレビやスマホも注意して正しい情報を得ることで、無駄なお金を使わないこと、みんなという言葉で一人だけの報告か複数の意見かを見極め正しい判断を家族で使うことです。このような「みんな」という言葉を使うことで自分勝手な生き方をする人、自分の考えを相手に押し付ける人、他人の意見を聞く力を養っていない人、わがままな態度で過ごしている人、周囲の人から信用されない人などと見られることに結び付けられる場合があります。家族で時々、人の言葉「情報」に流されないで正しい意見をもって困難に出会った時に、乗り切る生き方ができるために話し合いたいものです。子どもが「みんな」という言葉を使ったときは必ず「みんな」とは誰ですかと問いかけて生きていく上では正しい判断できることです。親として子育てに悩んだ時、例えば周囲の人に友達のこと・習い事・勉強のこと・仲間のことを聞くチャンスがあるとき、一人の人だけでなく複数の人に意見を聞いて正しい情報を得てから、夫婦や家族で正しい判断をして子育てに参考にしたいものです。親は自己選択・自己決定・自己責任が求められますが、正しい情報を持たなくて周囲の一人の人の意見に従ったためひどい目にあうことがあります。一生恨まないために気を付けたいものですね。